



# 寒狭峡

豊川(旧寒狭川)にかかる寒狭橋付近から下流の溪谷を寒狭山峡と呼んでいます。中央構造線の内帯側にあたり、領家帯になります。花崗岩のなかまの新城トナリ岩、変成チャート、泥質片岩、砂質片岩、片麻岩が帯状に分布しています。

## 寒狭川(現豊川)

鷹ノ巣山(段戸山)、寒狭山を源に、新城市北西部を南下して長篠城跡に至る清流です。1966(昭和41)年に豊川の上流として組み込まれましたが、今も寒狭川の名で親しまれています。

## 長篠発電所導水路

1912(明治45)年2月竣工。4月に送電を開始しました。ナイヤガラ型発電設備をそなえ、水路からあふれ落ちる余水が美しい人工の滝です。

## 鮎滝

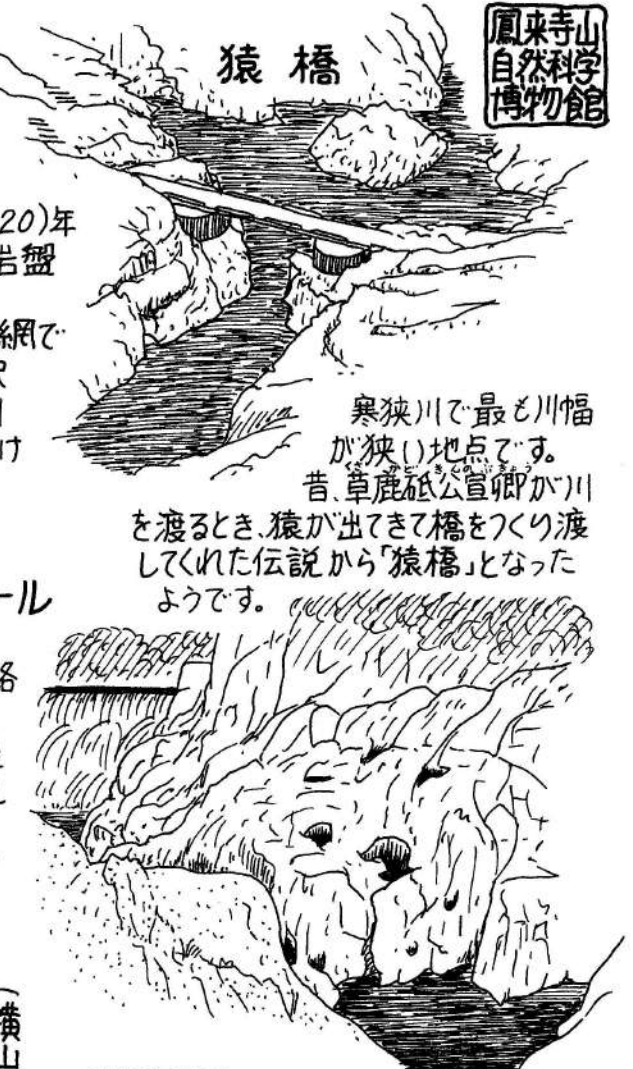
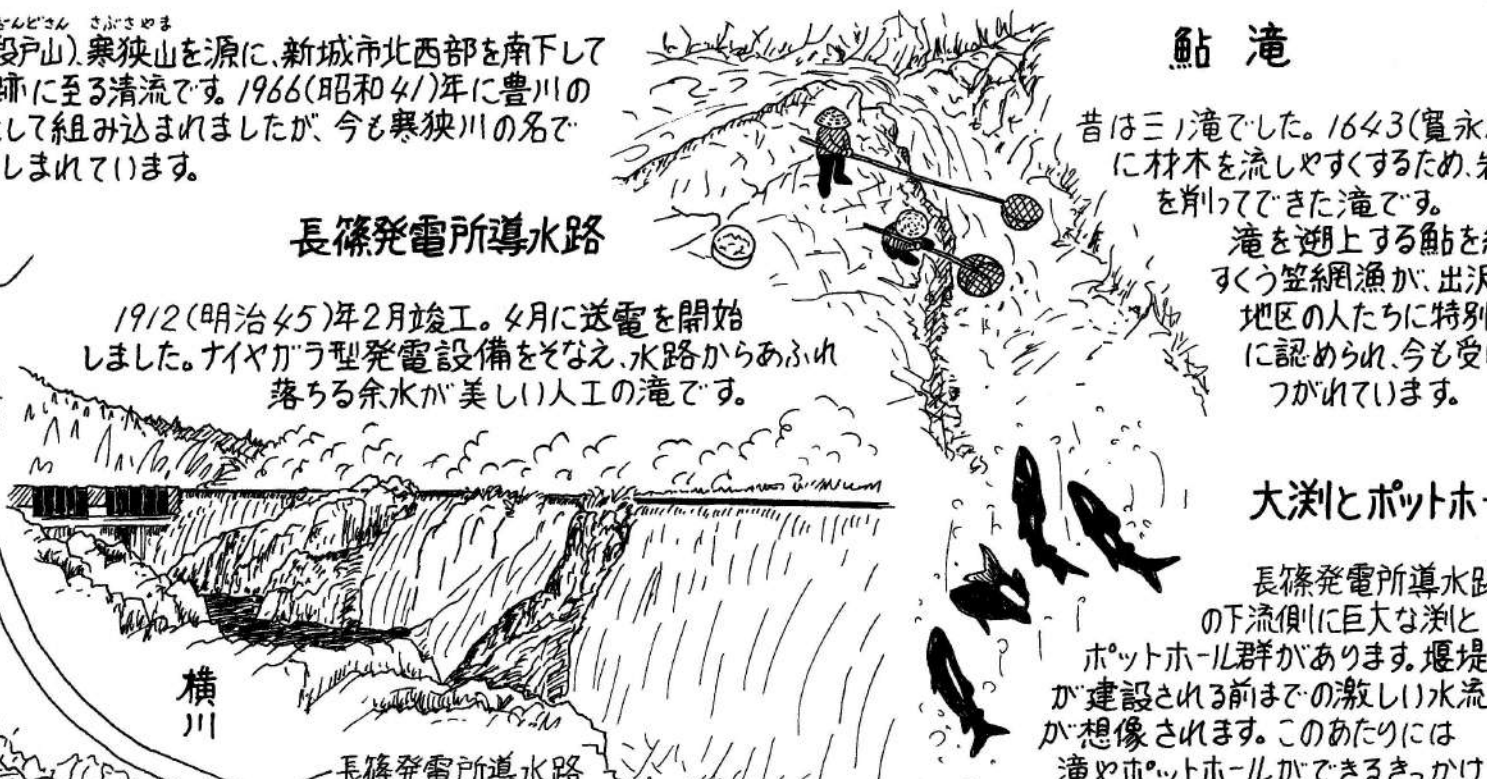
昔は三ノ滝でした。1643(寛永20)年に材木を流しやすくするため、岩盤を削ってできた滝です。滝を遡上する鮎を網ですくう笠網漁が、出沢地区の人たちに特別に認められ、今も受けつがれています。

## 猿橋

寒狭川で最も川幅が狭い地点です。昔、草鹿紙公宣卿が川を渡るとき、猿が出てきて橋をつくり渡してくれた伝説から「猿橋」となったようです。

## 大沢とポットホール

長篠発電所導水路の下流側に巨大な沢とポットホール群があります。堰堤が建設される前までの激しい水流が想像されます。このあたりには滝やポットホールができるきっかけとなりやすい小さな断層が、川と交差するように東西にのびています。



## 渡船場

1697(元禄10)年から約200年間続いた渡船場です。

横川(滝川)

## 新城トナリ岩

新城市の西部地域に東西方向に約14km、南北方向に約6kmにわたって分布しています。短冊状の角閃石を含み、暗色包有岩があるのが特徴です。発電所堰堤付近から下流の溪谷は新城トナリ岩が浸食されて形成されました。

## 領家変成岩

堰堤から上流側に分布しています。原岩は砂岩、泥岩、チャートで、ジュラ紀の付加体の一部です。プレート境界の沈み込帯の地下10km付近で、花崗岩マグマの熱を受けて、高温低圧型の変成岩になりました。

## 馬場美濃守

武田氏の重臣中の重臣で名將でした。長篠・設楽原の戦いで敗色が濃くなった武田軍の大將、勝頼を逃がすため、殿戦をつとめました。進撃と退却をくりがえし、出沢で討死しました。

(銭亀)

馬場美濃守の墓

(横山)

長篠発電所

宮沢

段丘面

猿橋

新滝

鮎滝

開龍神社

魔ノ神

段丘面

出沢

大海

R257

寒狭峡大橋